

学生時代

作詞 作曲：平岡精二

つたのからまるチャペルで 祈りを捧げた日
夢多かりしあの頃の 想い出をたどれば
なつかしい友の顔が ひとりひとり浮かぶ
重いカバンをかかえて 通ったあの道
秋の日の図書館の
ノートとインクのにおい
枯葉の散る窓辺 学生時代

賛美歌を歌いながら 清い死を夢見た
何の装いもせずに 口かずも少なく
胸の中に秘めていた 恋へのあこがれは
いつも はかなく破れて
ひとり書いた日記
本棚に目をやれば
あの頃読んだ小説
過ぎし日よ 私の学生時代

ロウソクの火に輝く 十字架を見つめて
白い指を組みながら うつむいていた友
その美しい横顔 姉のようにしたい
いつまでも変わらずにと 願った幸せ
テニスコート キャンプファイヤー
なつかしい日々は帰らず
素晴らしいあの頃 学生時代
素晴らしいあの頃 学生時代